

IBREA TIMES

2018/11/21

vol.04


IBREA JAPAN
International Brain Education Association

≪ 特集 Love myself, Love my City! 岐阜市 ≫ 地元でハッピーブレインシティプロジェクトを 展開しているブレイントレーナーにインタビュー 01 ハッピーブレインクラブ岐阜代表 小石 民代 02 子どもブレイン体操とブレイン瞑想専門 屋比久 寿子 03 50代の女性向けブレイン体操と呼吸専門 土田 由喜子 04 ハッピーブレインシティプロジェクト活動事例 05
≪ Brain Education Founder Interview ≫ 健康で幸せなまちづくりをサポートする ハッピーブレインシティプロジェクトを提案 06
≪ 開催報告 ≫ 2018脳教育国際フォーラム 08 活動案内 12

発行

特定非営利活動法人IBREA JAPAN

〒462-0825

愛知県名古屋市北区大曾根4-16-5 IS大曾根3C号

TEL : 052-307-8276 / FAX: 052-933-7116

<http://ibreajapan.org/>

特集

 Gifu
岐阜市

Love myself, Love my City!

 地元でハッピーブレインシティプロジェクトを展開している
 ブレイントレーナーに **特別インタビュー**

日本全国で約1,500人のブレイントレーナーがよりよい地域社会を目指して活動しています。脳教育という学問をベースにしているブレイン体操やブレイン瞑想は、子どもから高齢者まで幅広い年代の健康増進に適用できるのが特徴です。そのため、地元からは様々な要望があります。ブレイントレーナーは地元の皆さまの意見を聞いて内容の質を高めながら活動を広めています。

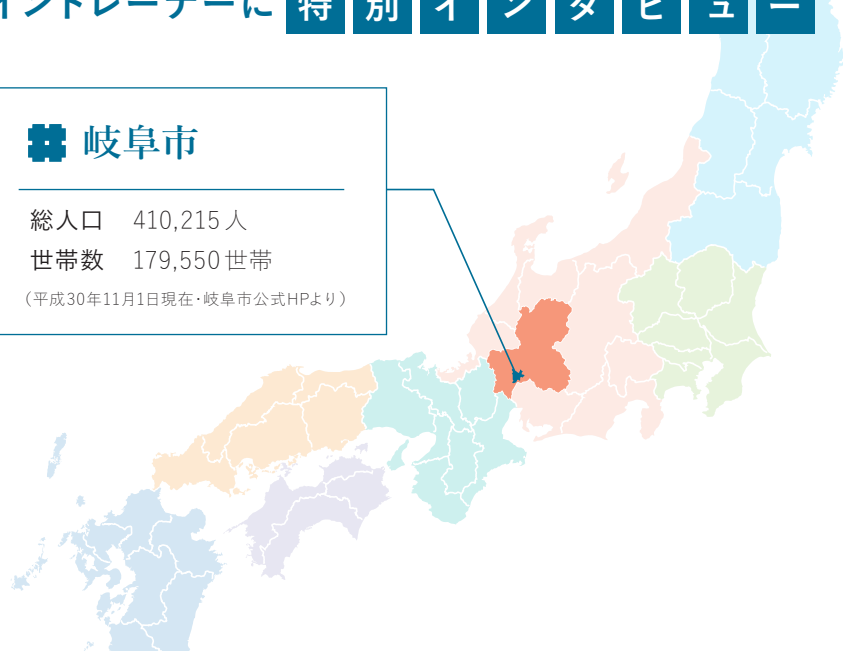
今回の岐阜市特集では、岐阜生まれの3人のブレイントレーナーに健康で幸せな街づくりへの熱い思いを聞いてみました。

岐阜市

総人口 410,215人

世帯数 179,550世帯

(平成30年11月1日現在・岐阜市公式HPより)



ハッピーブレインクラブ岐阜 代表

小石 民代

専門分野 市民講座



ハッピーブレインシティづくりフォーラムは 岐阜が初開催

ハッピーブレインクラブ岐阜は どんな集まりですか？

自分の健康と幸せを家族、職場、地域の人々に分かち合いたくて結成した集まりです。ブレイン体操や瞑想を伝えることで故郷の岐阜がより元気になることを目指しています。岐阜は日本のへそとも言いますので、岐阜がイキイキすると日本がイキイキと発展できると思います。

岐阜市でどんな活動をして いますか？

自分の健康は自分で責任を持って管理するという意識で暮らせる文化づくりを展開しています。ブレイン体操と瞑想は、老若男女だれでもできるので様々なアプローチもできます。子育てをしている親御さんの自己管理、子どもの体力と自己尊重感など心力の向上、創造性を発揮できる脳力アップもサポートしています。岐阜はこれからですが、他の県ではハッピーブレインスクールプロジェクトとしてブレイン体操と瞑想を授業に取り入れる動きもあります。岐阜で最も力を入れている分野は高齢者の健康サポートです。福祉施設や公共施設などで集まって楽しくトレーニングしています。自主講座や市民講座も行っています。超高齢社会を生きる私たち一人ひとりが健康的に年を重ねていくことで社会を変えていけると思い、頑張っています。

ハッピーブレインシティフォーラム というのはどんな企画ですか？

まず私たちの活動を市民の皆さんに報告し、知っていただきたくてフォーラムを企画しました。フォーラムの形式にした理由は、私たちが言いたいことだけを一方的に伝えるのではなく、皆さんから様々な視点でご意見をいただきたかったからです。

2019年は、全国15都市で地域社会に密着したハッピーブレインシティプロジェクトを展開する予定ですが、このフォーラムは岐阜発の企画です。全国のモデルになれるよう頑張りたいと思います。

今後の展望を 教えてください

今回のフォーラムでもブレイン体操とブレイン瞑想の良さを知っていただくために統計による発表もご用意していますが、客観的な評価のために今後もデータを集めること、フォーラムを毎年開催して活動のレベルアップにもつなげたいと思います。また、2人体制でブレイントレーナーを派遣できるように発展させたいと思っています。

瞑想する子ども、 素晴らしい成長が 期待できる！

屋比久 寿子

専門分野 子どもブレイン体操と
ブレイン瞑想



子どもも 瞑想できますか？

ブレイン体操とブレイン瞑想をわけて指導できるのは、小学校に入ってからだと思います。それまでは思いっきり体を動かしながら遊んで満足した状態になると不思議に瞑想をする子もいます。

横になって体の各部位を眺める内観という瞑想がありますが、意外とそれが好きみたいで最初にやってほしいと寝転ぶこともあります。

瞑想は子どもにも 必要ですか？

瞑想状態とは脳波が下がって安定している状態を言いますが、活発に動いている時と脳波が下がっている時の差が幼い頃から分かるというのはすごいことだと思います。しかも、自分でコントロールできるのは素晴らしいことです。子どもは感情をコントロールできるようになること自体が成長だとも言えるほど、日々様々な感情をどんどん経験しています。それをコントロールする訓練がブレイン体操と瞑想でできます。

お母さんとけんかしてレッスンに来た子が、瞑想が終わると優しい気持ちになっていたということはよくあることです。自分の体や内面に集中しているうちに、よくない感情もあるけれど自分には穏やかな面もあることに気づくのです。イライラしてよく癩癩を起こしていた子が癩癩を起こす回数が減ったという事例もあります。

感情のコントロール以外にも、勉強しなくなったり集中力が上がったケースも多いので、子どもにも瞑想は必要ではないかと思います。

子どもの指導に 関わるようになったきっかけは？

私はもともと子どもをワクワクさせられるような仕事をしたかったんです。それでおもちゃ会社をすればそれができらうと思っていたのですが、脳教育という新しい分野の学問を勉強するようになってから、今まで使っていなかった脳の潜在能力を使った爆発的な経験をしました。ここにきっと子どもの幸せのカギがあると確信しました。

子育てには どう役立ちますか？

私も子育てをしています。夕方にはヘトヘトになってイライラしていましたが、トレーニングのお陰で疲れにくくなりました。そして、今まで恥ずかしくて子どもに愛情表現ができなかったのですが、感じるままに愛情を表現するようになりました。脳教育のトレーニングは、親にも子育ての根本的なところで変化を起こすと思います。それが子どもによい影響を与えますし、トレーニングをしている子どもは健康や自信、自己尊重感が育ち、それがまた親によい影響と刺激を与えると思います。親子講座に力を入れている理由もそこにあります。

土田 由喜子

専門分野 50代の女性向け
ブレイン体操と呼吸



新たな創造の年代、 50代女性を 応援します！

公民館でのサークル活動に ブレイン体操と呼吸を取り入れた きっかけは？

実は、体調が悪かった友人のために公民館を借りてマンツーマンでトレーニングを始めたんです。そのうち公民館の管理人さんから、そんな良いことをやっているなら市民を対象にやってみないかと誘われてサークル活動として登録していただいたのがきっかけです。

参加者の反応や変化は？

正座をした時にひざの位置が左右違っていた方がトレーニングを1回した後、ひざの位置がそろってびっくりされたことがあります。冷えて困っていた方はトレーニングの後、手足がジンジンするくらい温かくなったこともありました。体がカチカチだった方は体の節々がゆるんで楽になったことも。このようなことが1回のトレーニングで起こったりするのでその変化に皆さん驚きますが、私のほうこそ変化を体験される皆さんにいつも驚いています。

呼吸はどんなものですか、 難しくはありませんか？

呼吸をしましょうと言うと肩に力が入って皆さん緊張されますが、横になってリラックスできるようにサポートしてから自分の呼吸を感じる時間を持っています。そうすると初めての場所で初めて会った人の前なのに熟眠する方もいらっしゃいます。自然な状態を回復するトレーニングですので難しくはありません。

50代の女性を対象に トレーニングをしている理由は？

公民館では高齢の方向けの健康体操などにはありましたが、50代のための講座はなかったのでやってほしいという要望がありました。50代の主婦は、これまで一所懸命家を守ってきた役割から離れて虚しさを経験し、今までの人生を省みることのできる、そしてこれからの人生を設計できる大事な時期にあると思います。

今後の計画

公民館の方々や参加しているの方々のお陰で早1年が経ちました。参加者をもっと増やし、一緒にサークルを運営していく仲間も増やしなが、皆さんがより健康になれるように、そしてこれから本格的に人生の目的や夢を見つけてイキイキと活躍できるようにサポートしていきたいと思っています。



親子一緒にトレーニングすることで
安心感と情緒形成につながる



遊びながら股関節運動！子どもも年配の方も
楽しめる動作が特徴



子どもに人気の亀のポーズは、目標を達成する
力を養い自己管理能力を向上させる



座ってできるブレイン体操。多様な
動作でポカポカ

Love myself, Love my City!



岐阜市



一人ひとりと大切に
向き合い、健康生活をサポートする
ブレイントレーナー



自分に合わせて無理なく、楽しくできる
ブレイン体操はいつも人気



背中を叩いたりなでてヒーリングタイム。
交流を大事にする
地域のあたたかい文化を作ります



Brain Education Founder Interview

IBREA(国際脳教育協会)の李承憲会長が特定非営利活動法人IBREA JAPANのブレイントレーナー定例会に参加するため、来日しました。子どもからシニア世代まで様々なカテゴリーに対応し、教育サポート、高齢社会サポート、職場環境サポートを行うハッピーブレインシティプロジェクトを提案した李承憲会長に独占インタビューを行いました。



李承憲会長は33年間、韓国をはじめ、アメリカ、日本、ヨーロッパなどに脳教育の様々なトレーニング法を伝えており、アメリカでは脳教育の成果と効果が認められてワシントンD.C.やニューヨーク市など、27都市で脳教育の日が制定されています。長年の内戦により治安が悪化し、殺人率が世界1位となったエルサルバドルでは、公教育に脳教育が導入されてから8年が経ち、その功労を認められて9月12日に李承憲会長にエルサルバドル政府最高賞であるホセ・シメオン・カニャス賞が授与されました。韓国でも脳教育をベースとした体育活動である国学気功の普及によって生活体育を振興した功績を認められ、9月15日に大韓民国体育振興賞が授与されました。

脳教育とは何か、なぜこのように世界的な関心と受賞が相次いでいるのか、李承憲会長にインタビューしました。

健康で幸せなまちづくりをサポートする ハッピーブレインシティプロジェクトを提案

脳教育とは？

人は誰しも健康で幸せで平和であることを願っています。そのために必要なのは、体力、心力、そして脳力です。この3つは有機的な関係をもっていますが、実は脳の中にある情報がすべてをリードしているので脳力アップが何より重要です。脳力を高めるための原理とメソッド、それが脳教育です。

人生の価値に方向性を見出す学問には人文学があります。哲学、文化、歴史、あらゆるものを全般的に扱うのが人文学です。それはつまり、人間の脳の歴史であり、脳がどのように活用されたかを研究する学問と見ることができます。人文学は人類の脳の歴史に大きな影響を与えました。人には時間と空間の概念があり、過去と現在を認識しながら未来を設計することができます。それが人間の脳の力、脳力です。そんな脳について研究し、教える学問が脳教育なのです。そのため、脳教育を人文学の核心、人文学の完成版と言うのです。脳力があれば、自分の人生の主になり、歴史の中で中心になれます。脳教育を人間完成学とも言う理由がここにあります。

脳力とは？

どんなに学力が高く、知識があっても、「あなたは誰ですか」という問いには答えられません。自分の名前は答えられるでしょう。しかし、名前は自分自身ではありません。自分の価値がわかること、自分の本当の価値が何かを知るのは、知識とは別の問題です。自分の価値を見つけたとき、私たちは自らを愛することができ、自分で自分をヒーリングでき、自分を信じることができ、自らに気づきを与えられます。問題を自分で探して解決できる力、それが脳力であり、脳教育トレーニングを通して脳力を高めることができます。

脳教育トレーニングの特徴は？

脳教育の代表的なトレーニングはブレイン体操とブレイン瞑想で、習わないとできないトレーニングではないということが特徴です。習うのではなく、感覚を回復するトレーニングです。私たちの体は本来、自ら治癒 [▶](#)

する機能を備えています。その感覚を目覚めさせるスイッチが脳の松果体というところにあります。私はそれを体験し、体と意識の大きな変化を経験しました。そして、誰でも元から備わっている感覚を回復できる、これが人々に役立つと確信しました。それから33年にわたってトレーニングを開発し続けています。

今回の訪日に合わせてヒーリングポイントを見つける方法も発表しましたが、これもトレーナーに教えてもらって習うのではなく、体の感覚に集中して自分でヒーリングするのです。

脳があれば誰でもヒーリングポイントを見つけることができ、人をヒーリングすることもできるので、誰でもトレーナーになれます。なかった能力を新しく作り出すのではなく、感覚を回復するのです。

脳の潜在能力が目覚めて脳力が高まると、どんな変化がありますか？

脳の感覚が目覚めて脳力が高まると、人に依存することなく健康や幸せを自分で創造できるようになります。健康と幸せと平和を自給自足できるようになるのです。そのとき、家族や社会も健康で幸せになり、平和になると思います。

脳教育は、健康、幸せ、平和を実践して社会を変えられる学問です。人が変化するだけでなく、他の学問やシステムも脳教育と出会えば新たな価値を見出します。脳教育は最高の料理を作ることができる食品原料、添加物、香辛料と言えます。脳があるすべての人にインスピレーションを与え、脳力を高められる人生の学問です。

ニューヨーク、エルサルバドル、韓国などで脳教育の評価が高いですね。日本では？

日本でもIBREA JAPANが派遣している約1,500名のブレイントレーナーが全国各地でブレイン体操やブレイン瞑想を指導し、学校教育、高齢者の健康管理、認知症予防運動指導、職務ストレス管理などの分野で活躍していると聞いています。

どこも同じですが、日本でも環境問題をはじめ、高齢化やメンタルヘルスなどの先進国が抱える課題、そして教育の方向性について悩んでいることでしょう。日本は早くから政府が対策して実施しているので、似たような問題と今後向き合っていく多くの国の模範になっていると思います。地方公共団体でも住民が活躍し、共に課題



▲ 脳教育瞑想の動作を見せてくれる李承憲氏

解決に努めていると聞いています。こうした点が何よりも素晴らしいと、尊敬しています。

この度、ブレイントレーナーたちと会い、地域社会や日本全体、そして人類全体の課題についてブレイントレーナーたちがどれほど悩み、責任を持ってアクションしているかが感じられました。脳教育を作り、今も研究している人間として、さらに最善を尽くさなければならぬと決意を新たにしました。

そして、その一環として、健康・幸せ・平和を創造するマスターキーである脳教育を地域社会で実践できるよう「ハッピーブレインシティプロジェクト」を提案しました。このプロジェクトは、まず全国15都市で本格的にスタートしていきます。学校教育に脳教育を取り入れるハッピーブレインスクールプロジェクト、高齢者の健康管理のための認知症予防運動指導、職場環境をサポートする職務ストレス管理をブレイントレーナーが実施し、地域社会の健康・幸せ・平和づくりをサポートします。自らをヒーリングし、自己価値を創造する文化ムーブメントが日本から広がっていくことを願っています。一人の夢は夢で終わりますが、多くの人がともに見る夢は現実になります。

Healing yourself!

Report
開催報告

2018脳教育国際フォーラム

BRAIN EDUCATION INTERNATIONAL FORUM

国連広報局(DPI)登録NGOの国際脳教育協会(会長 李承憲)と韓国政府公認ブレイントレーナー協会(会長 チョン・セイル)は10月11日、韓国ソウルにある中小企業中央会グラウンドホールで「2018脳教育国際フォーラム」を開催しました。

国際脳教育融合センターが主管したこのフォーラムには、主催国韓国をはじめ、アメリカ、イギリス、中国、日本など5カ国の脳教育の代表機関の専門家が参加し、教育と脳開発の分野に関心のある市民約300人が参加しました。



フォーラムに先立ち、イギリスのパワーブレインウェルビーイングのルーシー・リンチ氏が、脳を目覚めさせて活力で満たす脳波振動とブレイン体操を参加者に

指導しました。続いて、脳教育を導入したアメリカ・ニューメキシコ州とニューヨーク、エルサルバドルの教育現場を収めた映像が紹介されました。アメリカ・

ニューメキシコ州が公教育での脳教育の成果に支えられ、2017年にニューメキシコ州議会において満場一致で「脳教育の日」制定が可決された事例、ニューヨークブロンクス地区の公立学校では、放課後クラスに導入した脳教育での変化の事例、中米エルサルバドルで公教育全体に広がる脳教育の事例などが紹介されました。

この日、ブレイントレーナー協会のチョン・セイル会長は歓迎の辞を兼ねた基調講演で、「今の時代の問題点は、世界に広まっている生命軽視の風潮」と指摘し、「生命を尊重し、敬畏する思想をもとに、脳教育という実質的な訓練を通じて社会を浄化し発展させ、文化を発展させ、生命の価値を高められるというのはすごいことだ」と述べました。また、「脳教育の創始者である李承憲グローバルサイバー大学学長が中米エルサルバドルの公教育を変化させた功労で政府最高賞を受賞したのは象徴的なこと」と述べました。



▷ 続いて「21世紀のメンタル産業、脳教育瞑想」をテーマにした第1部の専門家による発表では、国際脳教育総合大学院大学 ヤン・ヒョンジョン脳教育科教授、韓国を代表する瞑想企業ダンワールドのキム・スンジュン運営室長、イギリス・パワーブレインウェルビーイングのルーシー・リンチ取締役、日本で脳教育トレーニングを行っているイルチブレインヨガのナムドヘ教育チーム長が発表しました。



▲ ヤン・ヒョンジョン教授

ヤン・ヒョンジョン教授は「グローバル瞑想トレンド及び脳波振動瞑想に関する国際研究成果」をテーマに、海外と韓国国内で発表された瞑想の効果の研究事例とグローバル企業の瞑想導入事例を発表しました。ヤン教授は、「現在、Googleをはじめとする多国籍企業では、瞑想に注目しています。Googleは、2007年に瞑想プログラムを導入して、心の知能指数、自信、業務能力、リーダーシップが向上し、スティーブ・ジョブズもインスピレーションを得て洞察力を育てるツールとして瞑想を活用しました」と述べました。ヤン教授は「2015年と2016年の研究の

結果、瞑想の経験がない実験群が8週間、10分の映像を見ながら脳教育の瞑想トレーニングを行った結果、問題解決力が向上し、憂うつ感、不安、ストレスが減少し、ポジティブな感情が向上したことが確認された」とし、簡単な短い瞑想だけでもすぐに効果が現れる脳教育瞑想を紹介しました。また、血中一酸化窒素、免疫細胞が分泌するサイトカインIL-10など、脳科学的例示によって瞑想のさらなる可能性を提示しました。ヤン教授は最後に「私たちの『生』は、DNAの結果ではなく、私たちの選択の結果」と強調しました。

「世界を変化させる脳教育の代表瞑想」をテーマにした発表で、キム・スンジュン運営室長は、誰でも簡単に心の安定を取り戻し、脳と情報を活用してストレスに強い体質になることを脳教育瞑想の効果に挙げ、「様々な年齢層の、健康、幸せ、成功、完成など多様なニーズを解決できるトータルソリューション」と説明しました。



▲ キム・スンジュン運営室長

イギリス・パワーブレインウェルビーイングのルーシー・リンチ取締役は、「メンタルヘルス時代、ヨーロッパで起こっている健康パラダイムの変化」をテーマに発表しました。彼女は弁護士としてストレスの中で暮らしていた自分が脳教育瞑想で変化した経験をもとに、「人々が感じる痛みや病気は、ほとんど自分の感情から来ており、人生とはつまり感情の産物です。しかし、脳教育では、感情が私たちがコントロールするのではなく、私たちが感情をコントロールできるとしている」とし、「脳教育は個人に役

立つだけでなく、幅広く社会共同体にも広まっている」と述べました。また、「イギリス政府が発表したウェルビーイング統計を見ると、16歳以上の成人28%が長期的にメンタルヘルスを守れず、70%が自分の人生に満足できず、20%が不安とうつを経験しています。また、寿命は男性79歳、女性83歳ですが、16年～20年は健康でない状態で苦しんでいる」とし、「脳教育は、健康で独立した生活のために心身の活用度を100%まで引き上げてくれる」と脳教育導入の必要性を述べました。 ➤



▲ ルーシー・リンチ取締役

▽ 日本のナムドへ教育チーム長は「日本における脳教育瞑想の展開」をテーマにした発表で、「日本には長年の瞑想の伝統があり、坐禅で知られています。しかし、作法や呼吸法などが決められていて、難しく感じることもあります。一方、脳教育瞑想は、簡単で効果があると日本人も驚きます。生命の源である気エネルギーを体験し、自らを省察できる自己認識力が高まり、他人をよくしてあげようという利他の心が育つ」と述べました。また、「日本では、厚生労働省のスマートライフプロジェクトにも参加しており、日本の社会が直面しているストレスや不安などの社会課題の解決に脳教育瞑想が役立つ」と述べました。



▲ ナムドへ教育チーム長

第2部のセッションは「第4次産業革命時代、未来教育」をテーマにアメリカ・ECOのスティーブ・キム取締役、アメリカ・ブレインパワーウェルネスプログラムディレクターのデイブ・ビル取締役、韓国BR脳教育のイ・ヒョンジョン運営理事、中国のユダのジュリー・メオCEO、イギリス・パワーブレインウェルビーイングのセレネイド・ノーマン講師が発表しました。



▲ デイブ・ビル取締役



▲ スティーブ・キム取締役

アメリカ・ECOのスティーブ・キム取締役は、21世紀のグローバルリーダーシップ、脳教育の未来価値をテーマに講演しました。彼は亀の鼻からプラスチックストローを引っ張り出す3分の映像を事例として「地球環境のためにプラスチックの使用を抑えなければならないことを誰もが知っていたが、この短い映像が国際的なムーブメントを展開して、具体的なアクションに導いた」と例示しました。彼は「持続可能な地球の未来を誰もが心配してはいるが、利益や政治性を手放して、

地球環境を選択する国や政治家や企業があるだろうか？」という質問を投げかけ、「地球環境を回復するには、政策や知識的な情報ではなく、人間の脳が最も重要な資質である共感能力を回復したときに、自分の人生を変え、世界を変える方向に転換できる」と強調しました。また、「脳教育で共感能力を回復し、人生の指標を変え、行動することによって持続可能で健康・幸せな地球づくりに寄与することが、地球市民ムーブメントの方向」と伝えました。



▽ アメリカで脳教育を普及しているブレインパワーウェルネスプログラムのディレクターであるデイブ・ビル取締役は「脳教育の導入10年、ニューヨークの学校の変化」をテーマに、アメリカの公教育での脳教育普及の事例を発表しました。

彼はニューヨーク市サウスブロンクスのハーレムで2か月間、脳教育授業によって多動性などの様々な問題行動が減った事例と脳教育瞑想とアメリカでよく知られている他の瞑想プログラムを適用した臨床事例を伝えました。

彼は「アメリカでよく知られている他の瞑想は、行動の問題の改善効果が26%なのに対し、脳教育の授業の後、52%の改善効果が現れました。脳教育の授業が共感能力をベースとしているため」と分析し、「2020年までにニューヨーク市110万人の生徒に脳教育瞑想を体験させ、2020年に開催される国際フォーラムで、その結果を発表する」とビジョンを提示しました。



▲ イ・ヒョンジョン運営理事

韓国BR脳教育のイ・ヒョンジョン運営理事の「第4次産業革命時代、世界を変える子供たち」をテーマに、韓国の脳教育青少年の変化事例を伝えました。イ運営理事は「第4次産業革命を希望的に展望したときのポイントは、人間を中心に現実と仮想が融合した社会になること」とし、「人間に本来備わっている特有の能力をどのように開発するかに対する答えは、脳にある」とし、「脳をよく使ってうまく活用する子供たちが世界を変えるであろうし、実際に変えている。脳活用を通じて、自己価値を



▲ ジュリー・メオCEO

知り、自分とコミュニケーションする術を知り、他人とコミュニケーションし、地球市民意識を持つ自己主導型の人間性英才が未来社会の求める人材」と強調しました。

中国のユダのジュリー・メオCEOは「中国児童青少年の教育市場における脳教育の価値」をテーマに、中国の教育の現実と課題、中国政府が提示する新たな教育政策などを説明し、中国での脳教育市場拡大の可能性を提示しました。



▲ セレネイド・ノーマン講師

最後に、イギリスのパワーブレインウェルビーイングのセレネイド・ノーマン講師の「イギリスでの脳教育講師活動とビジョン」の発表がありました。

彼女は「多様複雑な慢性疾患に苦しむ子供たちを助けるために医療スタッフと一緒にチームを構成して協力する仕事をしながら子供たちの肉体的苦痛を和らげても子供たちの心の痛みや生活の質が改善されないことを経験しました。

そして脳教育を通じて心理メンターとしての役割をする機会をつかんだ」とし、本人が指導した具体的な脳教育の事例を伝えました。彼女は「今、イギリスのロンドンで活動していますが、私は、マレーシア出身です。今後は母国に帰って母国の子供たちに脳教育トレーニングをさせ、親を変化させ、社会に良い影響を与えるドミノ効果を起こしたい」と自分の夢を明らかにしました。



IBREA JAPAN

主な活動

教育現場

キャリア教育
サマーセミナー
教職員研修
PTA



高齢者施設

認知症カフェ
120歳クラブ



自治体

婦人会、老人会
行政機関
職員研修



セミナー

脳教育
メンタルヘルス
健康寿命



日本に広がる脳教育 実施場所 約700カ所、3年で約5万名が体験・実践

脳教育は現在、日本で、学校関連施設141カ所をはじめ、企業、文化センター、老人ホーム、公園など約700カ所で実施されており、この3年だけでも約5万名が脳教育を体験・実践しています。

実施場所
700カ所

(2018年7月現在)

体験者
5万人

(2016～2018年7月現在)

講師
1,530名

(2018年7月現在)

ブレイントレーナー派遣受付中

IBREA JAPANでは、脳教育の原理やブレイン体操指導を希望する団体様に出張講習会やブレイントレーナーの派遣を行っています。職員教育や研修などにご好評をいただいています。お気軽にご相談ください。☎052-307-8276



IBREA JAPAN
International Brain Education Association

【特定非営利活動法人IBREA JAPANについて】

特定非営利活動法人IBREA JAPANは、国際脳教育協会 (International Brain Education Association: IBREA 会長 李承憲) の日本支部として1997年に活動を開始。2007年1月にNPO法人として登録しました。今日の発達した科学技術文明が人間の脳の創造性から始まったように、人類の直面している危機を解決するカギも人間の脳の中にあるという認識にもとづき、平和な脳をつくる哲学、原理、方法論を備えた「脳教育」の必要性と価値を社会に伝えることによる、人類のよりよい未来づくりを目指しています。

ブレイントレーナー派遣



小学校～大学、各種団体、企業にブレイントレーナーを派遣しています

ブレイントレーナー資格の発行



ブレイントレーナーは健康な人生を送る脳活用法を習得したスペシャリストです

脳教育セミナーイベント



「脳教育」の有用性を知り、実際に体験していただくために全国で活動しています



◀ IBREA JAPAN公式サイト

国連報告書

「国際脳教育協会
持続可能性報告書
2016」
もご覧いただけます

発行

特定非営利活動法人IBREA JAPAN

〒462-0825

愛知県名古屋市長区大曾根4-16-5 IS大曾根3C号

TEL: 052-307-8276 / FAX: 052-933-7116

http://ibreajapan.org/